

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】 (要領第5の2(1)関係)

分野	補完的な道路の整備		事業番号、事業名		41 雪寒対策道路(一般防雪)		補助・単独別		補助		建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況					
1	(国)158号 なかの湯橋上 中ノ湯橋上 (松本市)	無散水消雪施設 更新工 L=510m W=6.0(8.0)m 〔工期:H20～H24〕	無散水消雪施設 更新工 L=144m	無散水消雪施設 更新工 L=120m	無散水消雪施設 更新工 L=160m	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	66%	計画どおり進んでいる。 H22に引き続きH23も施設の更新を実施する。	主要幹線道路であり、 冬期間の通行の安全 を確保するため継続し て事業を実施したい。	緊急性が高く、重要 性も認められる。	「継続」		
2	(国)148号 白馬駅前 (白馬村)	無散水消雪施設 更新工 L=615m W=6.0(16.0)m 〔工期:H20～H23〕	無散水消雪施設 更新工 L=200m	無散水消雪施設 更新工 L=30m	無散水消雪施設 更新工 L=30m	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	95%	計画どおり進んでいる。 H22に引き続きH23も施設の更新を実施し、 事業完了。	主要幹線道路であり、 冬期間の通行の安全 を確保するため継続し て事業を実施し、H23 年度完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」		
合計	2箇所	8億1400万円	2億6000万円	8700万円	1億7000万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満					

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	41 雪寒対策道路(防災防雪)			補助・単独別	補助	建設部 道路管理課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	しらほねおんせん (一)白骨温泉線 しらほね 白骨 (松本市)	雪崩予防工 9箇所 スノーシェルター L=100m スノーシェッド工 L=231m [工期:H16~H24]	スノーシェッド工 深礎工 山側 30本 下部工 L=176m	スノーシェッド工 下部工 L=55m 上部工 L=90m	スノーシェッド工 下部工 L=55m 上部工 L=231m	必要性 A	78%	計画どおり進んでいる。 H22に引き続きH23はスノーシェッドの下部工を 実施し、上部工に一部着手する。	現在冬期通行止めと なっている本路線の 通年通行化に向け て、継続して事業を 実施したい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」
		21億1600万円	4億5800万円	2億6200万円	4億6000万円	重要性 B	特記事項 H22変更 2億円増 工期延長1年 H20に実施した詳細設計の結果による。				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 工事に伴う迂回路について、白骨温泉旅館組合がホームページで 情報提供している。				
2	おうぎさわおおまち (主)扇沢大町線 たい 第2ポイント上 (大町市)	スノーシェッド工 L=215m [工期:H20~H25]	地質調査 1式 地質解析 1式	詳細設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	スノーシェッド工 L=215m	必要性 B	6%	H22に地質解析が完了し、H23は詳細設計、 用地測量、用地補償を行う。	主要な観光道路であ り、雪崩による災害や 通行止めを回避する ため、継続して事業を 実施したい。	緊急性が高い。	「継続」
		10億円	1390万円	1200万円	9億4300万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 B					
						緊急性 A	住民参加状況等 観光協会等に融雪期の雪崩等の監視をしていただいている。				
合計	2箇所	31億1600万円	4億7190万円	2億7400万円	14億300万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	41 雪寒対策道路(凍害防止)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
1	ふりがな 箇所名 (市町村名) しゅ かいだ みたけふくしません (主)開田三岳福島線 かいだこうげん 開田高原 (木曽町)	堆雪帯設置工 L=1200m W=5.5(8.5)m [工期:H22~H24] 1億5000万円	堆雪帯設置工 L=450m	堆雪帯設置工 L=500m	堆雪帯設置工 L=1000m	必要性 B 重要性 A 効率性 B 緊急性 A	33.3%	平成22年度までに450mの拡幅が完了し、平成23年度は引き続き500m延伸する。	計画区間は冬期間の交通量が増加し、交通への影響も大きく地元要望も強いことから、早期の改善を図りたい。	必要性は認められる。	「継続」	
2	(国)148号 さわと 沢渡 (白馬村)	堆雪帯設置工 L=1000m W=6.5(14.0)m [工期:H22~H27] 5億円	用地測量 1式 用地補償 1式	堆雪帯設置工 L=150m	堆雪帯設置工 L=1000m	必要性 B 重要性 A 効率性 B 緊急性 A	2.2%	計画どおり進んでいる。次年度実施区間の用地測量および用地補償が完了し、平成23年度は堆雪帯設置工に着手する。	計画区間は車両のみならず歩行者の通行にも支障があり、地元からの要望も強く、冬の安全で快適な交通を確保するため、早期の改善を図りたい。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
3	(国)406号 やま かみ 山の神 (須坂市)	堆雪帯設置工 L=460m W=6.0(9.0)m [工期:H20~H24] 3億1600万円	堆雪帯設置工 L=272m	堆雪帯設置工 L=133m	堆雪帯設置工 L=188m	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	56.7%	平成22年度までに272mの拡幅が完了し、平成23年度は引き続き133m延伸する。	計画区間は当該路線の唯一の未整備区間であり、地元からの要望も強く、冬の安全な交通を確保するため、早期の改善を図りたい。	予定工期内の完了を図る。	「継続」	
4	やまだおんせんせん (一)山田温泉線 また 牧 (高山村)	堆雪帯設置工 L=2,090m W=5.5(8.0)m [工期:H16~H24] 10億円	堆雪帯設置工 L=230m	堆雪帯設置工 L=80m	堆雪帯設置工 L=80m	必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	94.4%	平成22年度までに2010mの拡幅が完了し、平成23年度は引き続き80m延伸する。	計画区間は日影部のため、冬期間は除雪によって寄せられた雪が解けにくく、車道の幅員確保が困難である。よって早期の改善を図りたい。	堆雪帯設置の必要性は認められる。	「継続」	

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	41 雪寒対策道路(凍雪害防止)			補助・単独別	補助	建設部道路管理課				
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
5	<small>しなのまだらおこうげんせん まんさかどうげ</small> (一)信濃斑尾高原線 万坂峠 (信濃町)	堆雪帯設置工 L=600m W=5.5(8.0)m (工期:H20~H23)	堆雪帯設置工 L=290m	堆雪帯設置工 L=180m	堆雪帯設置工 L=180m	必要性 A	75.1%	計画どおり進んでいる。平成22年度までに420mの拡幅が完了し、平成23年度は残り180mの拡幅を完成させる。	計画区間はスキー場に近接しているため、冬期間は交通量が急増する。除雪後は車のすれ違いも困難となり渋滞も発生していることから、早期の改善を図り、H23事業完了を目指す。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 B						
合計		5箇所	5億269万円	3億6000万円	8億8176万円							